

ズームインふくち

ZOOM IN
FUKUCHI

↑共に汗を流し、高みを目指すスカイライオンズの精鋭。西日本のトップを目指すナインの今後に、目が離せません。



スカイライオンズが西日本大会出場 福岡代表の実力を発揮

方城地区のメンバーが主力となって組織される社会人野球チームのスカイライオンズが7月1日から3日間の日程で行われた「西日本軟式野球大会」に出場しました。兵庫県で行われた今大会には、西日本の23府県を勝ち抜いた強豪26チームが集結。各試合で手に汗握る攻防が繰り広げられました。スカイライオンズは、2回戦で共に優勝候補に挙げられた地元代表と対決し、健闘むなしく3対2で惜敗。地元代表はそのまま優勝を飾り、今回は涙をのむ結果となりましたが、来年の雪辱を誓い、決意を新たにしていました。

自転車図書館が福智町に 手製の自転車図書館で全国行脚

本棚を取り付けた自転車で野宿を重ね、全国を巡る土居一洋さん(徳島出身)が8月3日に福智町に到着し、環境問題などを扱った本の無料貸し出しを行いました。自身が環境問題や戦争などの記録集「百年の愚行」を読んだことがきっかけで始まったこの行動は、今年で7年目。土居さんは「本を読んで未来を考えてほしい」と環境保護に取り組む思いを伝えていました。



↑返却は不要ですが、貸した本を周囲に読みつなぐように呼びかける土居さん。

↑上野焼協同組合の7人に手ほどきを受けながら、目を輝かせ作陶する子どもたち。



上野焼子ども作陶教室 伝統を継ぐ世界に一つの上野焼づくり

町子育連主催の「子ども作陶教室」が、7月31日に中央公民館で開かれました。75人の小中学生が参加し、ひも状の粘土を積み上げる「手びねり」で、カップや皿などを成形。初めて作陶に挑戦した玉井美貴子さん(金田中1)は「時間がたつと土がひび割れて大変でしたが、先生に助けられて満足いく作品が作れました」と焼き上がりを楽しみにしていました。

福智の風

▶はじめて参加するイベントでは、新しい出会いと発見ばかり。ともすれば生きる上での大きな刺激や糧を得るチャンスにもなり得ます。また、普段参加しているイベントでも「参画」してみると、また別の発見ができるはず。こんな身近でそんな感動や喜びを見つけられる福智のイベントの日程は、広報紙やHPでぜひご確認ください!(日吉)

▶環境保護を訴えて自転車で行った全国を旅する土居一洋さんに取材させていただいた(P19掲載)。1冊の本が土居さんの考えを変え、会社員だった人生を真逆に歩ませた話を聞いて、胸が躍った。今の現状をなげうってでも、したいことをする。私にはマネできない行動に、同世代として嫉妬するとともに応援したいと心から思った。(久原)



赤穂浪士 47人土
提供者●三村 貢作さん
撮影日●昭和33年10月20日

金田稲荷神社神幸祭で「忠臣蔵」で有名な赤穂浪士に仮装してパレードを行う様子。パレードは昭和41年頃まで行われ、町外から観客が詰めかけるほど人気のイベントでした。

昔の写真を探しています!
岡 総務課広報・広聴係
☎22-0555



四季の歌

心映の投句

俳句・短歌教室の詠歌紹介

高齢者大学・隣保館句会

池田一歩選

水族館魚に見られて夏帽子
木洩れ日を膝に遊ばせ風涼し
空蟬の力を抜かずすがりをり
うな井の匂ひのゆれて配膳車
親心詰め中元として送る
豆下駄の背伸びして買ふ氷菓
熱中症心離れず虫音待つ
山里の茜に染まる合歓の花
この辺り蟬の国かと思ひけり

丸山 鈴子
吉田 弘
千手 弘子
大久保幸子
森 玲子
小笠原雄子
久松ミサオ
小場 妙子
有川 信子

福智町金田公民館俳句教室

岩井鬼童選

雲の峰神の布石の島三つ
釣り上げし鳥賊の怒りの透きにけり
香水を振ればバリーの街想ふ
虫干や父の日記に泣き笑ひ
蝸牛眠たきときは貝になる
句談義や和風のれんの夏座敷
汗の子の声を大きく帰りけり
緑蔭に余生たのしむ神馬かな
魂の抜けたるごとし昼寝覚
千魚の目玉飛び出す暑さかな

松岡 萬枝
建部三由紀
西田 真美
小川 雪
長副美恵子
迫田 昌子
今井三千代
仲谷ひろえ
山口みち子
日比生利子

方城句会

池田一歩選

草陰の陽を探しをり天道虫
娘を偲び眠れぬままに暑き夜
棟札の語る由緒の夏館
今朝うれし珍客なりし糸とんぼ
夏雲へ向かつて旅の始まりぬ
山嶺に一刷けの雲布袋草
一戦にかけし球児の汗と泥
茗荷の子季節となれば居並びぬ
帰省子の心の背丈伸びてをり

木村 誠一
倉石嘉代子
白石 凡子
杉 フジエ
長尾 冴子
藤井耿之介
渡邊 一枝
朝部さよ子
尾崎 和子

ともしび短歌会短歌詠草
いづくかに姿消したる野良猫のじゃれし庭下駄雨に濡れたり
朝顔のすだれに咲きし花一つ朝露光り風のさわやか
古里の無人の駅の心地よしちり一つなく花咲きさかり
そんなにも飲みたいのかと妻の言う七勺の酒熱燗うまし
台風過ぎ去りしあとの静けきを蟬も安堵せむしきりに啼きつつ
「ガンバレ」と小さきゴーヤの実に触るる台風近づく予報を聞き
真夏日に軽自動車で峠こゆエアコンさかぬも風は冷たき
大蘇鉄株を増やして庭に伸ぶ千手観音の慈悲の手ならむ

桑野 昭子
越智 早苗
福田キヨ子
八代 範夫
白石 信子
村上 美幸
白石 清和
福田 昌